

◇-----◇  
下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2011. 12. 12

下水道機構の『新技術情報』 第 25 号

(財) 下水道新技術推進機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

◇-----◇

公私ともに慌ただしかった 11 月。ふと気づけば、紅葉はピークを過ぎ落ち葉、冬空の下、さざんかの花のピンクが際立ち、南天は赤い実をつけ。周りを見渡す余裕ができたようです。ゆとりができるといろんなものが目に入ってきますね。逆の発想で忙しい時こそ、意識的に通勤途中の景色の変化など日常の中に「気づき」を見つけることでゆとりが生まれるそうですよ。忙しい師走こそ、デスクの隣の方と今日の気づきを報告し合うのもいいかもしれませんね。私の今日の気づきは「相棒の耳たぶに長い毛が生えている」ことでした（笑）

さて、今週も機構メールマガジン『新技術情報』第 25 号をお届けします。  
業務に、Tea Break にご活用ください。

#### ■□■□トピックス□■□■

##### ★インフォメーション

・12月8日、国土交通省国土技術政策総合研究所下水道研究部の堀江部長をゲストにお迎えし、国際関係をテーマに技術サロンを開催しました。

・11月22日に平成23年度第二回新技術設計手法等共同研究委員会が開催され、「リスク管理を考慮した監視システムに関する共同研究」についての審議が行われました。

・web 機関誌「下水道機構情報 PLUS+」掲載コラムの答えは！

##### ★機構の動き

・12月20日(火)に下水道BCP策定マニュアル（地震・津波編）検討委員会が開催されます。

##### ★Tea Break

・マーフィーの法則を知っている？（研究第二部 I さんからの投稿です）

##### ★みなさまからのコラム

・掲載情報募集中！

機構の新技术情報でお伝えしたい情報をお持ちの方は本コラムをご活用ください。

★国からの情報

- ・12月8日付け下水道ホットインフォメーションです

.....  
インフォメーション (最新の話題です)  
.....

●12月8日、国土交通省国土技術政策総合研究所下水道研究部の堀江部長をゲストにお迎えし、国際関係をテーマに技術サロンを開催しました。

堀江部長は、在ケニア大使館、コロンビア、タイの専門家等を経験されるなど海外経験が豊富で、現在は、GCUS 運営委員長や ISO/PC251 の国内審議委員を務められるなど、国際関係業務の要としてもご活躍されています。今回、「アセットマネジメント ISO 化と GCUS の動き」と題して情報提供いただきました。

その内容は、前半はアセットマネジメントに関する ISO 化で、3年後の2014年春の発効に向けて、国際会議が開催され、規格案が検討されていることが紹介されました。イギリス、アメリカ、アセアニアが中心となり、規格は3つ。「アセット」ということで組織運営論的な内容から議論に入っているそうです。国内的にはこれからといった様子ですが、下水道事業にとどまらない規格ですので、様々な分野からの検討参加が望まれます。また、後半はGCUSの動きについて。この12月からは民間企業も直接運営に加わった体制となり、プロジェクト形成支援、海外とのネットワークング、国際標準化等の検討を進めていられるそうです。特に国際標準化では、再生水等での動きがあり、アジアでは日中韓の定例協議が来年1月に日本で開催される予定だそうです。

さて、次回の技術サロンは、第300回目です。日時は、1月12日の木曜日の17:00から18:00で機構会議室にて。国土交通省下水道部の加藤事業調整官をお迎えして、「我が国の今後の下水道事業の展開」をテーマに開催します。300回、新年そして今後の展開と、飛躍に向けたサロンにしたいと思っておりますので、皆様のご参加をお待ちしております。参加申し込みは機構

ホームページから。→ <http://www.jiwet.jp/school/school-07-300.htm>

※前回、11月の植松対策官をゲストにお迎えして開催した技術サロンの資料を、専用サイト登録者のページに掲載しました。→ <http://www.jiwet.or.jp/>

●11月22日に平成23年度第二回新技术設計手法等共同研究委員会が開催され、「リスク管理を考慮した監視システムに関する共同研究」についての審議が行われました。

本研究は、(株)東芝、(株)日立製作所、(株)明電舎、メタウォーター(株)、三菱電機(株)と当機構の6者で実施している共同研究で、下水道施設における従前の監視機能にリスク低減に有効な付加機能を備えた新たな監視システムについて検討し、「技術資料」として取り

まとめるものです。

委員会では、リスクを低減するための監視システムの支援機能等について報告し、審議されました。今後はリスク事象の再整理と支援システムの効果の明示等について検討を進め、技術資料（案）と合わせて次回委員会で審議する予定です。

●web 機関誌「下水道機構情報 PLUS+」掲載コラムの答えは！

ニューズレター（創刊号）・コラムの人は、(財)下水道新技術推進機構の専務理事の江藤隆

さんです。昭和 26 年、熊本県生まれ。建設省（現 国土交通省）に入省し、石川県下水道課長、

東北地方整備局河川部長、国土交通省下水道部長等をつとめられ、平成 20 年から現職です。

皆様お分かりになられたでしょうか。

※ニューズレターはこちらからご覧頂けます。 <http://www.jiwet.jp/newsletter/20111130/>

---

機構の動き （機構の行事予定です）

---

●12 月 20 日(火) 15:30～17:30

平成 23 年度第 1 回下水道 B C P 策定マニュアル（地震・津波編）検討委員会

（場所：機構 8 階中会議室）

★12 月 15 日(木)～17 日(土) 10:00～18:00(最終日は 17:00 まで)

第 13 回エコプロダクツ 2011(場所：東京ビックサイト)に当機構から下水汚泥の資源エネルギー利用や地震関連（BCP）等について出展します。場所は東ホール 5-007 「21 世紀の下水道を考える会」協議会ブース内。

---

Tea Break （機構職員の感じるまま）

---

●マーフィーの法則を知っている？（研究第二部 I さんからの投稿です）

私が建設現場の安全管理を担当していたときに、よく作業をしている人に言っていた言葉です。

マーフィーの法則とは「トーストがバターを塗った面を下にして着地する確率は、カーペットの値段に比例する。」「洗車しはじめると雨が降る。雨が降って欲しくて洗車する場合を除いて。」をはじめとする、先達の経験から生じた数々のユーモラスでしかもペーソスに富む経験則をまとめたものです。

この中の安全管理に通じるものをまとめた人がいました。その一部を紹介します。

1 ” 今まで大丈夫だった” は、” これからも大丈夫” の保障にはならない。

2 20メートルからは落ちないが、2メートルからは落ちる。

3 本来、取り外してはいけないものを外したときに限って、作業員がやってくる。

「マーフィーの法則を知っている？」こんなことを言うと、たいていの人は「突然を何を言い出したんだ。」というような顔をしてこちらを見ます。そこで、この法則を使い、「”今まで大丈夫だった”は、”これからも大丈夫”の保障にはならないぞ。もう一度、危険箇所がないか現場の隅々までよくチェックしてくれ。」「20メートルからは落ちないが、2メートルからは落ちることがあるぞ。簡単な作業でも、安全に対して気を抜かないよう作業員に指導してくれ。」というように、我々の言っていることに耳を向けてもらう工夫をしながら注意しました。

それにしても、建設現場の安全管理に通じる法則までまとめていたとはマーフィーさん恐るべし。

---

みなさまのコラム（皆様からお寄せいただいた情報です）

---

●掲載情報募集中！

機構の新技术情報でお伝えしたい情報をお持ちの方は本コラムをご活用ください。  
情報提供はこちらまで→ [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

※原則 400 字以内。なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としていますが、掲載の可否は当機構にて判断させていただきます。

---

下水道ホットインフォメーション（2011.12.8 付、国からの最新情報です）

送信元：国土交通省都市・地域整備局下水道部下水道事業課企画専門官 石井宏幸

---

『アーチ&シパック - 世界ウンコ大戦争 - 』という韓国映画が日本で公開されるとのこと。エネルギー源が枯渇し、人間のウンコが唯一のエネルギー源になった都市を舞台に、ウンコ争奪のための大戦争を描いたアニメーション作品らしい。国交省が進める「B-DASH プロジェクト」が目指す世界がそこにある!? 来年 2 月 11 日から順次公開。下水道関係者必見!?

<http://movies.jp.msn.com/news/article.aspx?articleid=779563>

★★★★★ 今週のラインナップ ☆☆☆☆☆

○仙台市における復興支援の下水道モデル事業調査がスタート【下水道企画課】

=====

○仙台市における復興支援の下水道モデル事業調査がスタート【下水道企画課】

下水道地震・津波対策技術検討委員会「復興支援スキーム検討分科会」（座長：大村達夫 東北大学大学院教授）では、復興支援に関する下水道モデル事業調査として、仙台市と気仙沼市を対象に実施することとしており、11/30（水）、仙台市にて第一回現地会議が開催されました（事務局代表：国土交通省）。会議には、同分科会の大村座長のほか中尾正喜 大阪市立大学大学院教授も出席されました。復旧復興事業に併せた下水熱利用システムの導入可能性を検討するため、調査候補地の現地調査や今後の進め方などについて意見交換がなされました。今後、ニーズや採算性などについて詳細に検討を進めていく予定です。

◆◆◆◆ 東日本大震災被災・復旧状況 ◇◇◇◇

○今週のトピック～相馬市下水処理場でほぼ通常の処理まで復旧～

相馬市下水処理場で、ほぼ通常の処理が開始されました。これで、稼働停止のため応急対応中の処理場は15箇所となりました。

○下水道施設被害状況（12月5日時点）

| 下水処理場 | 震災当初 | 現在    |
|-------|------|-------|
| 稼働停止  | 48   | 15 ※1 |
| 施設損傷  | 63   | —     |
| 正常に稼働 | —    | 96 ※2 |
| 不明    | 9    | 9 ※3  |
| 計     | 120  | 120   |

※1 応急対応中 13、汚水発生なし 2

※2 ほぼ通常の処理を含む

※3 福島第一原発周辺

| ポンプ場  | 震災当初 | 現在    |
|-------|------|-------|
| 稼働停止  | 79   | 19 ※1 |
| 施設損傷  | 32   | 18    |
| 正常に稼働 | —    | 74 ※2 |

不明 | 1 | 1 ※3

---

計 | 112 | 112

- ※1 汚水 3 (すべて応急対応中)  
雨水 16 (応急対応中 6、排水対象なし 10)
- ※2 ほぼ通常の排水を含む
- ※3 福島第一原発周辺

下水管きょ (テレビカメラによる調査の結果)

11 都県の 130 市町村等 (うち調査済 129)

被害延長/総延長 635km/64,815km

※被害状況については国土交通省 HP にも掲載

[http://www.mlit.go.jp/saigai/saigai\\_110311.html](http://www.mlit.go.jp/saigai/saigai_110311.html)

[http://www.mlit.go.jp/crd/crd\\_sewerage\\_fr\\_000007.html](http://www.mlit.go.jp/crd/crd_sewerage_fr_000007.html)

=====

【参考情報】

- ◆水ビジネス「取り組みたい」3割 県が企業にアンケート 滋賀 <12/1 中日新聞>  
<http://www.chunichi.co.jp/article/shiga/20111201/CK2011120102000117.html>
- ◆放射性焼却灰の保管場所新設へー川崎市 / 神奈川 <12/1 毎日新聞>  
<http://mainichi.jp/area/kanagawa/news/20111201ddlk14040259000c.html>
- ◆10万ベクレル以下汚泥焼却灰、セメント固化不要ー環境省決定 <12/3 毎日新聞>  
<http://mainichi.jp/select/jiken/news/20111203ddm008040075000c.html>
- ◆黒部の足湯 愛称「ばいお〜ゆ」 魚津の施設職員ら命名 <12/3 中日新聞>  
<http://www.chunichi.co.jp/article/toyama/20111203/CK2011120302000150.html>
- ◆下水汚泥を燃料化 県、大津市と共同事業 <12/6 中日新聞>  
<http://www.chunichi.co.jp/article/shiga/20111206/CK2011120602000125.html>
- ◆市街化区域外も下水道整備 福山市 <12/6 中国新聞>  
<http://www.chugoku-np.co.jp/News/Tn201112060014.html>
- ◆横浜市 東電に10億円超請求 放射線量測定器代など <12/7 東京新聞>  
<http://www.tokyo-np.co.jp/article/kanagawa/20111207/CK2011120702000038.html>
- ◆大田原市の施設に移送開始 熔融スラグ保管で県 上三川に続き2カ所目 栃木 <12/8 下野新聞>

